

design and Construction に分れている。これは Krynine の書物の分類に似てゐるが、遙かに調子は高い。詳細は引用文献で補う積りか Part A, Part B, の部分の記述は簡単である。しかし、一方に複雑な実際問題をひかへてゐる時、土質力学の理論的な部門として堂々として主張出来る所は、これ位の事かも知れない。実験室の研究者は自分達の研究結果を過大評價する傾向がある。彼等の仕事の多くのものの中で、実際問題に役立つ事は非常に僅かなのである。誤解されぬ様に説明を加へるが、この極く僅かな價値あるものを見出すためには、非常に多くの研究を必要とするのである。これは學問の性格から來るのである。実際に役に立つある一つの事柄、例へば A=B と言う事を學問的に主張するためには A≠B が正しくないと言う多くの事實を検証しなければならないのである。従つて Part A, Part B の記述は簡単であるけれどもこの裏には一つ一つも重要な多くの研究が、ひそんでゐるのである。Terzaghi Peck が開巻壁頭に基礎、土構造技術に於ける成功は、他のいづれの土木技術の分野にもまして、實際の経験に基いてゐると言つてゐる事は味うべき事で、土質力学の行く可き道を明らかに

してゐる言葉であると思はれる。

この意味から、著者達は現場の expert, E. Cumming, O.K. Peck, F.E. Schmidt 等の助力を仰いだと書いてゐるが、土質力学の研究が実験室と現場との密接なつながりに依つて進められる所を示してゐると考へられるのである。

Part C では Soil Exploration, Earth Pressure and Stability of Slopes, Foundations, Settlement due to Exceptional Causes の 4 章に分かれ実際に即した諸問題が論じられ、本書の最も重点を置かれた部門となつてゐる。

尙ほ戦後英國から Géotechnique と言う土質力学の雑誌が出てゐる。私は其中の一冊を見得たのみであるが、Grim, L. Casagrande 等の論文が載つてゐた。L. Casagrande のは昨年の Rotterdam 会議に出した Electro-osmosis の論文を詳しく書いたものであつた。

尙ほ、この卷末に最近の土質力学の論文表題が載つてゐたが、可成り多くの研究がある事が分つた。

初めに書いた英國の二書は米國の諸著に比し、多少の遜色がある。近代土質力学の發達が主として米國に負う所から無理もない所であらう。

## ニ ュ ース

### 海外ニュース

#### ニューヨーク市の水不足

ニューヨーク市にはじめて水道が設けられたのは 1776 年であるが、人口増加に伴つて時には井戸を掘るなどして兎に角水の要求に應じて來た。しかるに市の発展と共に総計 18 のダムと 30 の貯水池に依り、主管延長のみでも 5200 哩に及ぶ水道施設が出來てゐる。第二次大戰の間は、この給水施設の擴張を中止しなければならなかつた。其の爲に昨今は水不足になやまされてゐる、現在の水不足は歴史上今だかつてない程度のものである。市当局は、自動車やトラクターを洗つたり、建物の側面や側道を洗う事を禁じ、10 000 人に上る水の浪費防止隊を組織し、節水につとめて居るその結果、市民一日一人当たりの水消費量は 150 ガロ

ンより 128 ガロンに減じた。しかし危機は未だ去らない。水道局では毎週数時間の “water vacation” を要請してゐる。市民は水圧降低の爲、ビルの低い階にやつて來て水を得てゐる。埃っぽい事は鉱山の最前線を思はせはせるやうな状況である。

因みに米國の他の大都市の一日一人当たり水消費量は次の如くである。(単位ガロン)

シカゴ (234), フィラデルフィア (168), ロスアンゼルス (151), クリーブランド (187), ボストン (117), デトロイト (147), セントルイス (192), バルティモア (169)

#### 米國鉄道会社裁判に敗る

ミズリー州の大審院に於て最近ワーバッシュ鉄道会社が、36 名の土地所有者および借他人に対して 20 585 ドル拂うよう判決があつた。此の判決の理由は面白いことに、鉄道会社のワケンダ河に架けられた鉄道橋の

スパンが余りに小さ過ぎたために洪水の被害が大きくなつたのであつて、若し鉄道橋のスパン割りをもつと大きくとつておけば、かかる大きな洪水被害にはならなかつたであろうと云うのである。而もこの判決は、カロル郡の巡回裁判所の判決を覆えしていくて、我が國の事情から考えると大変興味深いものがある。

### 高價な事故

ワシントン州パスクの近くのスネイク河に架かつてある橋梁が、最近火事で焼けた。その原因は通りかかつた自動車が燃えている毛布を落したので油を浸してある木材とアスファルトの床板に燃え移つたためである。此の毛布というのが、ラヂオを包んだ自動車の後のバンパーにつけておいたのであるが排氣ガスから引火したものである。ワシントン州の道路局の橋梁技術者ジョージ・ステイブン氏の調査によれば、床版は殆んど破壊され、鉄筋はひどくひん曲つたものもあるが幾分は新しい構造物に使用出来るものもあるようであるとのことである。現在の交通は下流の渡し舟によつている。復旧には2年間を要し工費200万ドルを要するそぞうである。

### 国内ニュース

#### 測量士および測量士補の登録 および試験

昭和24年9月1日から測量法、測量法施行令および測量法施行規則が施行され、測量技術者として測量に從事しようとする者は測量士および測量士補の登録を受けなければならなくなつた。之に就て建設省地理調査所から要点を略記して手引となるものを発表されたから紹介する。

登録申請書又は受験願書その他関係書類の提出およびこれらに関する用紙の請求問合せ等は、東京都千代田区霞ヶ関1の2建設省地理調査所総務課宛にすればよい。なお申請書願書等の用紙類は、各都道府県の土木部にも送附する予定であるから、便宜の方は同部で受取つてもよい。

##### 測量士および測量士補の登録申請

###### I. 測量士および測量士補の登録申請

測量士又は測量士補となる所定の資格を有する者が測量士又は測量士補にならるとする場合には、建設省地理調査所長に対し登録申請書にその資格を証明する書類を添えて登録の申請をしなければならない。

###### II. 測量士又は測量士補となる資格

###### A. 測量士となる資格

- 文部大臣の認定した大学に於て測量に関する科目を修め、当該大学を卒業した者で、測量に関し1年以上の実務の経験を有するもの。
- 文部大臣の認定した専門学校に於て測量に関する科目を修め、当該学校を卒業した者で、測量に関し3年以上の実務の経験を有するもの。
- 建設大臣が指定する測量に関する専門の養成施設に於て1年以上測量士となるのに必要な専門の知識および技能を修得した者で、測量に関し2年以上の実務の経験を有するもの。
- 測量士補で、建設大臣の指定する測量に関する専門の養成施設において建設大臣の指定する科目について高度の専門の知識および技能を修得した者。
- 地理調査所の長が行う測量士試験に合格した者

###### B. 測量士補となる資格

- 文部大臣の認定した大学において測量に関する科目を修め当該大学を卒業した者。
- 文部大臣の認定した専門学校において測量に関する科目を修め、当該学校を卒業した者。
- 建設大臣が指定する測量に関する専門の養成施設において1年以上測量士補となるのに必要な専門の知識および技能を修得した者。
- 地理調査所の長が行う測量士補試験に合格した者。

###### III. 登録申請書の記載事項および添付書類

測量士又は測量士補の登録の申請をしようとする者は次に掲げる事項を所定の申請書に記載し必要書類を添付の上申請しなければならない。

###### (1) 登録申請書記載事項

- 氏名、生年月日、住所および本籍
- 事務所又は業務所の名称および所在地
- 測量士又は測量士補となる資格の種類
- 測量に関する経歴
- 専門とする測量の分野

###### (2) 添付書類

- 大学又は専門学校に於て測量に関する科目を修めて卒業した者であることを証する当該大学又は専門学校の長の証明書、又は測量に関する専門の養成施設の長の証明書
- 登録の資格として測量に関する実務の経験を必要とする者は、これを証する事務所又は業務所の長の証明書、又は経歴の記載が眞実であることを誓約する書面

###### IV. 登録手数料

- (1) 測量士登録 800円  
 (2) 測量士補登録 400円

(但し測量士補が測量士となる場合は 400円)

登録手数料は、登録申請書に登録手数料の金額に相当する収入印紙(消印しないこと)をはつて納めねばならない。

#### V. 登録事項の変更又は登録の抹消

登録を受けた後登録の記載事項に就いて変更があつた場合又は登録抹消の事由があつたとき、直ちにその旨を地理調査所長に届けなければならない。

#### VI. その他

測量法施行の日(昭和 24 年 9 月 1 日から 1 年間に限り、測量士又は測量士補でない者でも基本測量又は公共測量に從事することが出来る。

#### 測量士および測量士補の試験

##### I. 受験資格

この試験は測量法に定める測量士又は測量士補となるのに必要な専門的学識および應用能力又は必要な専門的技術を有するかどうかを判定することを目的とする試験であるから年令、性別および学歴の如何を問わず誰でも受験の資格がある。

##### II. 受験手続

- (1) 各試験を受けようとする者は、履歴書および写真を添えて受験願書を地理調査所長に提出しなければならない。
- (2) 履歴書は適宜の書式で差支えないが、本籍、現住所、氏名、生年月日、学歴および職歴(測量に関する職歴がある場合はその経歴を詳しく)を必ず記載しなければならない。
- (3) 写真は最近 1 年以内に撮影した手札型のもので、台紙にはならないこと。

##### III. 試験科目

###### (1) 測量士試験

測量士試験は次の科目について行う。

- 必須科目 測量学概論
- 選択科目 次表の各群のうちからあらかじめ一つの群を選んで受験する。

群別	科 目	程 度
第一群	イ、三等三角測量	大地測量における辺長平均 4 キロメートル程度の測量とする。 三等三角測量の精度と同等の精度を有する測量とする。
	ロ、精密多角測量	大地測量における精密水準測量とする。
	ハ、一等水準測量	地形測量のため三等三角測量の測量成果に基いて実施する測量とする。
第二群	イ、基準点測量	地形測量のため三等三角測量の測量成果に基いて実施する測量とする。

二群	ロ、地形測量 ハ、写真測量	縮尺二万五千分の一程度の測量とする。 図解法および機械法を主とする測量とする。
第三群	イ、作図第一 ロ、作図第二	主として地図投影に関する測量とする。 主として地図の表現の変更に関する測量とする。
	ハ、地形測量	平板による測量とする。
	ニ、写真測量	図解法による測量とする。
第四群	イ、三角測量 ロ、多角測量	鉛又は鎖の平均計算を作り測量とする。 二十秒読み程度の經緯儀と銅巻尺とを使用して三角点を連絡する測量とする。
	ハ、水準測量	感度四十秒程度の水準儀を使用する測量とする。
	ニ、各種測量に関する應用作業 ホ、受験者の選択するもの一種又は写真測量	図角法による測量とする。

(2) 測量士補試験は次の科目について行う。

- 必須科目 測量学大意
- 選択科目 次の科目のうちからあらかじめ三科目を選択して受験する。

科 目	程 度
イ 三角測量作業	三十秒読み程度の經緯儀を用いる観測および概算を主とする作業とする。
ロ 多角測量作業	一分読み程度の經緯儀を用いる観測および概算を主とする作業とする。
ハ 水準測量作業	感度四十秒程度の水準儀を使用する作業とする。
ニ 地形測量作業第一	經緯儀による作業とする。
ホ 地形測量作業第三	平板及びコンパスによる直接測定による作業とする。
ヘ 地形測量作業第三	平板による図根測量及び間接測定による作業とする。
ト 写真測量作業第一	主として図解法による作業とする。
チ 写真測量作業第二	主として機械法による作業とする。
リ 作図作業第一	主として地図の投影に関する作業とする。
ヌ 作図作業第二	主として地図の表現の変更に関する作業とする。

なお、願書受付期間は 2 月 15 日より 3 月 20 日まで試験期日は 5 月 5 日(測量士試験)、5 月 6 日(測量士補試験)の両日全國 22 個所で 12 時 30 分より行われる予定である。

#### 都市学会の復活

都市学会は戦前東大今井登志喜教授を中心として、関係学会各分野を連合して、多くの成果を挙げて來て

ふたが、中でも大都市の不良住宅問題に就いての総合調査に主力を置いて來た。その具体的実態調査として東京都新宿区四谷町に於ける不良住宅調査が挙げられる。之は戦争の爲完結するに至らず中止の形となつてゐた。今回、地理、土木、建築、都市衛生、社会学各方面的有志が集まつて都市学会の再興を企図し、種々意見の交換を行つた結果、取り敢えず関係する諸分野を連合して、都市に関する諸研究活動の情報を持ち寄り次第に正常の歩みを取り戻すよう努力する事になつた。その第1回の会合を1月下旬東大の山上御殿に開く筈。

#### 第4回セメント技術大会開催予告

第4回セメント技術大会は日本セメント技術協会（東京都台東区浅草北松山町40）によつて本年5月中旬東京に於て開催される予定である。講演はセメント及びコンクリートに関する未発表の研究であればよく、協会では多数の参加を望んでいる。講演申込要項を簡単に御紹介しておく。

- 申込書には演題、講演者名、同勤務先、同通信先  
講演所要時間（20分以内）を明記し、共同研究の場合は講演者に○印を附する。
- 申込書には講演内容を簡潔に記した100字以上  
300字以内の講演要旨を添付する。
- 講演申込期日 昭和25年3月15日
- 昭和25年4月15日までに「セメント技術年報」に登録用の原稿を提出すること。
- 申込講演数は3以内のこと。

#### 日本河川協会に河川技術委員会設置さる

日本河川協会（東京都千代田区霞ヶ関、建設省河川局監理課内）では、河川技術委員会を設けて、都道府県の中小河川の改修計画、設計の立案其の他の委託を受けることとした。この委員会の委員長には、辰馬謙蔵氏、副委員長には、谷口三郎氏、委員に鈴木雅次、

金森誠之、寛斌治、内村三郎、遠藤守一、砂治國良の諸氏を委嘱し発足した。

#### 参議院選挙の噂に上る人々

参議院の第1回の3年議院の任期も5月2日で終るので、6月4日には第2回の選挙が行われる。第1回には土木界関係の議員としては赤木正雄（兵庫3年）原口忠次郎（兵庫6年）兼岩傳一（全國6年）の諸氏を送つたが、原口氏は昨秋神戸市長に選出され、赤木氏は任期が終ることになつてゐる。今回の選挙に際して既に他選自選の候補者が噂に上つているが、参議院の職能代表的性格からしても土木界出身の議員を多数送ることが非常に望まれている。噂に上る人々の内最も鮮明としているのは「今更試験でもあるマイ」とてあつさり公務員試験を放棄した建設次官岩沢忠恭氏を始めとして、再出馬の現議員赤木正雄氏、本学会前会長、元運輸省施設局長岡田信次氏、大阪府土木部長鈴木健二氏等の外に前特別調達廳長官阿部美樹志氏及び日発総裁大西英一の呼声も高い。その他昨秋退官して共産党に入つた赤岩勝美氏の立候補も傳えられている。

#### 謝恩の集い

昨夏來、東大および九大土木教室が中心となつて、当学会長吉田徳次郎氏の多年に亘るコンクリート界への功績を記念するため、記念品の贈呈を計画し募集中であつたが、醸金額も約26万円に達したので先般これを締切つた。

その記念品（書籍および眼鏡）贈呈式が在京発起人参考のもとに、去る1月26日午後5時半から学会会議室で行われた。写真の如く吉田氏の薰陶を受けた名士20数名が集り極めて和やかな集いであつた。

学生時代に吉田氏から叱られた想い出から始まり、氏の渡米前後の珍談に花が咲き、渡米中に氏の下宿へ押しかけて氏と同じベットで眠つた豪傑まで披露された。なお仄聞するところによると、吉田氏はその書籍を全部東大及び九大へ寄贈された由である。



#### 人事移動

地方廳土木部長異動  
新任地方縣名 氏名 前任地  
兵庫 王馬 三池 鎮浪 富山  
高野 宗久 関東地建企画部長  
松田 勘次郎 山梨

山山福富和愛高	山谷泰	英治郎平	城河港課長
庫王馬	林林健	晴郎寬	中部地建工務部長
高野	高小熊青平	三庄政三	都福道路局長
松田	柿井慶	井德	道路愛護課長
勘次郎	井祐	大橋高	河川課長
山	知崎	小熊青平	兵庫地建事務所長
		柿井祐	九州地建事務所長

### 建設省技術官異動

新 任 氏 名	前 任 地
道路局補修課長 近藤 鍾武	山形県部長
道路局建設課長 富樫 凱一	九州地建工務部長
関東地建企画部長 仁科 太郎	高知県部長
中部地建工務部長 秋草 勉	関東地建事務所長
中部地建企画部長 三宅第三郎	群馬県道路課長
近畿地建企画部長 中島 武	近畿地建事務所長
九州地建工務部長 藤芳 義男	九州地建企画部長
九州地建企画部長 三浦文治郎	九州地建事務所長

### 学 会 記 事

○月例講演會 1月25日午後1時30分より建設省土木研究所講堂に於て行われた。参会者35名

1. 基礎地盤における反力分布に関する研究 九州大学 鹿部屋福平
2. 二重数値積分について 芝浦工大 谷本勉之助
3. ローラーによる締固め効果の迅速測定法 東京大学 渡辺 隆
4. 平板の実測数値解法 岐阜医工大 四野宮哲郎

○抄録委員會 1月11日午後3時より委員20名数名参集の下に行われたが、23年3月発足來銳意抄録集の編成に当つた委員会も今回をもつて一應最終回とし、昭和13年7月より16年12月までの論

文抄録を土木工学論文抄録第3集として学会より刊行するため一切の印刷準備を終つた。

○理事會より 1月27日午後5時半より学会々議室に於て行われたが来る5月27日より3日間東京大学に於て総会、年次講演会及び、見学会を行うことに決定した。

○常議員會 1月30日臨時常議員會を開き、久しく中絶していた土木賞授與規程について協議を行い規則第36條の改正による土木賞授與規程を決定した。なほ土木賞委員会委員を関東地区11名、北海道、東北、中部、関西、中四、西部各1名、学会側4名を以て構成した。

### 会員入退会報告 24. 12. 16. ~ 25. 1. 7

入会 60名(正 12名, 准 19名, 学 29名)

退会 11名(准 9名, 学 2名)

復活 11名(正 5名, 准 6名)

轉格 41名(准~正 40名)

鳥井健一、神田一雄、岡部義賢、遠藤 靖、吉村貞次  
瀧口定一、角田孝志、馬場豊彦、佐々木退、森 茂正  
三浦宜雄、原口正一、網本克巳、愛甲芳喜、磯尾汀一  
上田 明、梅村吉朗、大本正彦、飯塚義勇、池田迪弘  
石川又郎、五十嵐信一、小島義眞、竹内俊夫、奈良清  
長瀬 哲、中村喜作、野口勇二郎、野上達郎、橋本嘉  
夫、森 修一、松本敏雄、安井寛治、吉越盛次、山下  
嘉治、幸野慶蔵、岡村雅夫、伴辺正治、石井精丸、寺  
西宗登、(学~准 1名) 富田壽一

### 編 集 後 記

本号の担当は報文——國分、葛生両委員、資料——左合、板尾両委員、ニュース——山田、長谷川両委員でした。内容が少しコンクリート関係に偏り過ぎた傾向がありますが、現在土木建築界の注視を浴びているA Eコンクリートに関しその方面的権威、セメント技術協会々長藤井光藏氏にお願いした記事と、学位論文公開の要望に応じて内山実氏が寄せられたカタ練りコンクリートに関する研究の一端は、共に会員諸兄の観迎を受けることと確信します。

節分、立春も過ぎもうこゝかしこの黒土にはかすかな春の胎動が感じられます。『冬來りなば春遠からじ』何だかヒューマニスティックな香りのするこの句がなつかしく頭に浮んで来ます。だんだん暖かくそして明かるくなつてゆく——あの期待と希望で胸を一杯にしてくれる春の予感は、幾度めぐつても私達に生きることの価値を新しく教え、認識させてくれるようです。

次号は奥田教朝氏の論説、川上謙太郎氏「台湾阿公店溪の水理計算」、後藤幸正氏「鉄筋コンクリート固定版の経済的設計」、埴田清勝氏「鋼構造物設計上 2. 3. の問題」、太田誠一郎氏「鋪装廢材の再用についての試験報告」、樋口芳朗氏「音響学的測定法によるコンクリートの強度の判定」等の内容で3月中旬発行の予定です。一陽來復の春から始まる全國会員の御活躍を祈念しながら筆をおきます。

昭和25年2月25日印刷	土木学会誌	定価 80円
昭和25年2月28日発行	第35卷 第2号	

編集兼発行者	東京都千代田区大手町2丁目4番地	中 川 一 美
印 刷 所	東京都港区溜池町5番地	大 沼 正 吉
印 刷 者	東京都港区溜池町5番地	株式会社 技 報 堂

東京中央局区内 千代田区大手町2丁目4番地	電話丸の内(23)3945番
発行所 社團法人 土木学会	振替 東京 16828番

# DOBOKUGAKKAISHI

VOL. XXXV, NO. 2, FEB. 1950

(JOURNAL OF THE JAPAN SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS)

## CONTENTS

Papers	Page
On the Air-Entrained Concrete .....	K. Fujii, Dr. Eng..... 1
A Study of the Standard Method of the Compression Test on Concrete of Dry Consistency.....	M. Uchiyama, Dr. Eng..... 7
Progressive Personal Error.....	I. Ando,..... 13
Forced Vibration of a Beam Affected by Seismic Movement and Application of the Orthogonal Function Group to Solving its Seismic Coefficient.....	K. Abe,..... 17
Safety Against sliding of Concrete-Dams (Abstract).....	T. Hatano,..... 20
How the Sunk-Ship-Breakwater was Built at Hachinoe Harbor (II) .....	M. Komatsu,..... 22
Hydraulic Computation of Detension Reservoir at Akootenkei, Formosa .....	K. Kawakami,..... 27
Abstracts .....	30
Reference Data .....	33
Voice .....	39
Lecture .....	43
News.....	45

## OFFICE

NO. 4 OTEMACHI 2-CHOME, CHIYODA-KU, TOKYO, JAPAN.

## 御断り

前号35卷1号裏表紙広告の中、佐々木図書出版株式会社発行 新井義輔著 発電水力(上)水路工作物  
はB・5判300頁、予價350円とありますが A・5判300頁、正價300円の誤りにつき訂正致します。

### 土木用具軌條附属品

ペーパー・モール・スパイキ・ボルト各種  
シャベル・ショップ・ツルハシ・ハンマー  
土呂車輪・レール各種・メタル・ジンクロ  
鉄ブロツク・チエンブロツク・ガイドローラ  
製造販賣



株式  
會社  
**名倉商會**

東京都中央区日本橋蛎殻町二ノ八  
電話茅場町(66)7978番

### 各大学教授講師編輯 **土木工学教材叢書** B.5版

1. 発電水力参考図集〔重版〕 96頁 180円
2. コンクリート及び 鉄筋コンクリート 参考図集(基本篇)  
82頁 150円
3. コンクリート及び 鉄筋コンクリート 参考図集(構造物篇)  
110頁 180円
4. 土木施工機械参考図集〔重版〕 80頁 180円
5. 港湾参考図集 110頁 200円  
以下続刊 各冊送料12円

財團法人 建設技術研究所  
東京都中央区銀座西3ノ1建築会館内  
(電話・京橋(56)4372.7434)  
(振替・東京 145705番)

## ＝ 土木事業の発達を図る道 ＝

土木事業の発達に役立つためには如何したらよいか。これは吾々の日常心懸け且つ苦心しているところであるが、なかなか有効適切に効果を挙げることは難しい問題である。本学会の目的にも“土木工学の進歩及び土木事業の発達を図る”とある。その目的を達するために（1）調査及び研究（2）会誌、新聞その他図書、印刷物の刊行（3）講演会、講習会の開催（4）見学、観察等の事業を行うことになっている。そのうちで学会として重要な事業は会誌の刊行、講演会の開催等であるが、周知のように戦中戦後の混乱期に当つて会誌の刊行すら充分に行われないで、殆んど学会の事業は停止状態にあつた。これは他の事業と軌を一にするものではあるが、特に財政的基礎の貧弱な学協会の類においては手痛い打撃を蒙つた。本学会においてもその例に洩れず、再建に多大の時日を要しつゝある。従つて未だ観察見学等は復活されず、最も重要な図書、印刷物の刊行にても資金難で非常に不活潑な状態にある。論文集、抄録集、名簿等の刊行も、資金不足で予約制による有償頒布を行つている状態で、学会の目的も充分に達せらせられていないといえるだろう。

その他、学会の事業とはいえないかもしれないが、重要な行事である「土木賞牌」の授與が昭和19年以來中止されているので、本年から復活し斯界の進歩に些かでも寄與し得るように、授賞範囲を拡大する予定である。即ち從来は会誌に登載された論説報告に対してのみ行われたが、対象を論文の外に、設計考案並に施工技術に対しても広く土木賞を授與することゝし、授與の範囲を拡げて最優秀なもの外に、將來性のあるものに対しては奨励賞を授與することゝなつた。

以上は学会の事業を通じて土木事業の発達に寄與する方途について述べたのであるが、これは極めてオーソドックスなものであるだけに消極的である。学会の性格からすれば当然の方途であり、徒らに学会が建議、陳情等に主眼を置いていたり、宣傳に走つたり或は政治活動類似のことをするのは孰るべき途ではない。併し土木工学の進歩を考究すると同時に、土木事業の発達の方途を樹てることは当然実施すべきことがらである。

凡そ土木事業は公共的事業である。事業主体がたとへ私企業であつても公共性が多分にあり、單なる営利事業とは性質が異つていて、所謂公共事業でないとしても公益乃至公共性の事業である。従つて事業の大部分が國或は自治体の事業であり、然らざるものであつても許認可事業であるものが多い。かような特性を有する土木事業の発達を図るには、一面設計乃至施工技術面の向上を図ると共に、他面事業の企画乃至決定に適切な方途を講ずる必要がある。即ち單に施工会社、企業乃至実施官庁に適材を得るだけでなく、議会方面にも適材を得なければならない。更に普遍していいうならば各分野にそれぞれ土木技術を修得した人物が健全なる能力を以て配置されていることである。例えば觀光会社政党等にもそれぞれ適材が置かれていることが望ましい。土木技術者の職場は官庁や請負会社に限られたものではない。唯誰でもよいといふものではなく、各職場において最も適材を得ることが必要であることは云う迄もない。従つて適材があれば、議会にも政党にもどしどし土木技術者を送り込むことが望ましい。

土木事業は應用技術である。理論科学とは性質が異なるのは勿論であつて、一人の偉人によつて仕事が著しく進められることはない。全般のレベルが向上されて始めて事業の発達が図られる。例えば特定地域の道路が極めて整備されたとしても、全体的効果は得られず、道路事業が発達したとは考えられない。全般のレベルを向上さすためには期会を擱んで各方面に土木技術者の進出を図ることにある。

（編集次長 奥田教朝）

## 記 事

支部だより

◆西部支部 25 年度役員 (25 年 2 月 15 日)

支部長 大島 末彦(西日本鉄道取締役)

常議員(留任)斎藤卯之吉(門司鉄道局施設部長)

〃 村上 正(九州大学工学部教授)

〃 野村 太郎(日本鋪道福岡支店長)

(新任)三浦文治郎(九州地方建設局企画部長)

〃 蒲地 浪絵(第四港湾建設部次長)

〃 岡本 丈夫(西日本鉄道取締役)

支部所在地 福岡市大名町 1 西日本鉄道株式会社  
技術部内

◆中部支部 25 年度役員 (25 年 2 月 25 日)

支部長 比企野広治(名古屋工業大学)

常議員(新任)比企野広治(〃)

〃 三宅第三郎(中部地方建設局企画部長)

(留任)藤田 喫五(國鉄岐阜工事部長)

(新任)中谷 茂一(近畿日本鉄道名古屋営業

局技術部長)

〃 松久 勉(岐阜県土木部道路課長)

(留任)松見 三郎(名古屋市土木部長)

顧問 永田民也, 花井又太郎, 田淵壽郎, 佐々木銑

評議員 小林庄平, 佐々木銑, 大神啓太郎, 大林勇治, 田中孝, 鈴木清一, 山岡茂, 高林泰一郎, 藤田啖王, 古賀清藏, 永田時一, 杉戸清, 石川栄次郎, 足立貞嘉, 姫野勘治郎, 結城朝泰, 立神弘洋, 松本金吾, 水野太賀

幹事長 荒井利一郎

幹事 秋草勲, 松見三郎, 繼龜一, 黒田名久三, 笠原昌春, 河合秀夫, 高桑鋼一郎, 松久勉, 大石憲次, 戸田福三郎

支部所在地 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学土木工学科内

### 御 詫 び

広告部係員病氣のため、広告掲載主各位に対し、色々と御迷惑をおかけ致して居り深く御詫び申上げます。当分広告に関する御連絡はなるべく電話にてお願ひ申上げます。

### 最 新 刊

早稲田大学教授  
藤井鹿三郎  
他三名共著

**測量学精説 (上)**

A5・202頁 200円

**測量学精説 (下)**

A5・282頁 350円

(元 65円)

本書は本年 5 月施行の測量士及び測量士補の受験者に絶好の参考書である

早稲田大学出版部  
東京都・新宿区・戸塚町 (振替・東京 1123)

### 建設省土木研究所 山田順治著

新示方書に依る

### コンクリート工学

A5判 210頁 上製本 定價 350円 〒30円

新示方書に準拠したコンクリート工学書は本書を以て嚆矢とする。著者は土木学会標準示方書作製の委員にして新進氣鋭の研究者、土木技術者各位に確信を以て推奨致します。

### 土木工事現場手帳

ポケット型 180頁 定價 100円 〒30円

発行所 東京都千代田区  
神田旅籠町 21  
振替 東京 36987番 電話下谷 808-809

東京大学助教授 丸安隆和著

### 測

A5  
上製  
下卷一五八頁

七〇頁

予價

二〇〇円

（下卷三月下旬發行予定）

文部省・高等教科書協会指定教科書！

測量学全般に亘つて平易に解説し、教科書として又一般測量技術者の受験参考書として好評なり。

東大教授 工学博士 星埜 和著

東大教授 工学博士 星埜 和著

上製二九〇頁

價二八〇円

（上製二五二頁

價二〇〇円

（上製二五四頁

價二六〇円

（上製二六〇頁

價三五〇円

（上製二六〇頁